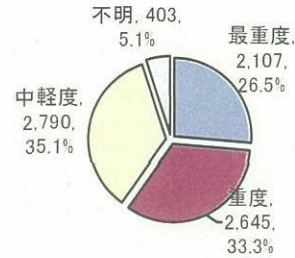
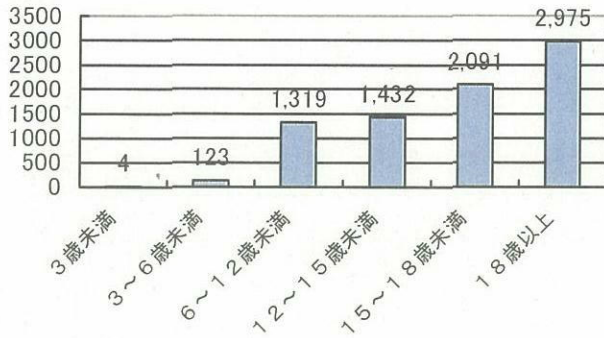


5. 児童の状況

- ・在籍数 7,945 人で在籍率 81.7%、年齢は 18 歳以上が多く 2,975 人 37.4%であるが前年度より 1.5ポイント減少している。次いで高校生の年齢が 26.3%となっている。(平成 18 年 10 月 209 施設)



- ・就学は、4,967 人 62.5%、うち高等部就学 1,906 人(38.3%)
 - ・障害の程度は、重度域が 59.8%と前年より 4.1ポイント減少し、中軽度が 35.1%と増加している。
 - ・重複障害は、てんかん 24.3%、自閉症 26.8%、身体機能障害・低下 9.1%と多様な状態像を示している。
 - ・生活支援面では、行動課題等が多く見られ、安全上、常時目を離せない 29.3%がマンツーマン対応を必要としている。設備上安全対策を必要とする者も 12.3%にのぼる。
 - ・医療面では、てんかん薬の服用が 25.2%、精神薬 25.4%、睡眠剤 7.3%と小児神経医療の対応度が高いことを示している。
- ⇒ これらのことから配置基準の児童 4.3:職員 1 の配置では十分な対応が困難であり、週 40 時間労働時間制では運営が困難な実態にある。

(1) 就学の状況

	人数	%
訪問教育	53	1.1%
施設内分校・分教室	290	5.8%
施設隣接提携学校	496	10.0%
地域の養護学校通学	3,382	68.1%
地域の小中学校の障害児学級通学	448	9.0%
地域の小中学校の普通学級通学	24	0.5%
幼稚園への通園	11	0.2%
保育所への通園	10	0.2%
不明	23	0.5%

(2) 重複障害の状況

	施設	人数	%
てんかん	194	1,933	24.3
自閉症(傾向)	179	2,128	26.8
その他の精神障害	122	440	5.5
視覚障害	92	167	2.1
聴覚障害	91	113	1.4
肢 体 不 自 由	上肢	97	166
	下肢	116	284
	体幹	95	160
	運動機能	66	108
内 部 疾 患	心臓	85	121
	腎臓	48	37
	喘息	77	128
	糖尿	36	17
	その他	59	126